別紙様式３－２

倫理委員会部会審査結果通知書

令和７年４月２８日

申請者（研究責任者）
菊地　尚久　様

倫理委員会　医療局・リハビリテーション治療局部会長

受付番号　医療７－１

承認番号　医療７－１

課 題 名　障害者に自立訓練をより効果的に提供するための研究

研究者名　診療部　センター長　菊地　尚久

先に申請のあった上記課題に係る実施計画を令和７年度第１回倫理委員会医療局・リハビリテーション治療局部会で審査・検討し、下記のとおり判定した。

記

判定	非該当	承認（○）	条件付承認
	変更の勧告	不承認	
理由又は勧告			

理事会審議結果通知書

令和７年６月５日

かがわ総合リハビリテーションセンター
地域生活支援部
部長　小島　正平　様

社会福祉法人
かがわ総合リハビリテーション事業団
理事長　　田　中　　一　裕

令和７年５月29日付「障害者に自立訓練をより効果的に提供するための研究」の利益相反に関する申請について、第130回理事会（令和７年６月４日開催）第５号議案での審議の結果、承認されたことを通知する。

別紙様式

令和７年５月２９日

研究の利益相反に関する自己申告書

社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団　理事長　殿

所属・職名　：　地域生活支援部長
氏　　名　：　小島　正平

研究課題名　障害者に自立訓練をより効果的に提供するための研究

上記の研究について、次の通り申告致します。

１．当該研究に使用する研究経費について

一般的な学術研究

□　科学研究費補助金

□　文部科学省　　研究種目：

■　厚生労働省

□　その他（１）

□　奨学寄附金

□　その他（２）　　名称等：

企業等の委託研究

□　受託研究費　　研究代表者名：　　相手先名称：

□　共同研究費　　研究代表者名：　　相手先名称：

□　その他（３）　　名称等：

２．当該研究に関係する企業・団体等との関係について

		【有】		【無】
A	当該研究に関係する外部活動について（但し，公的活動，及び診療活動をのぞく）	□	・	■
B	当該研究に関係する一企業・団体等からの年間 150 万円以上の収入について　（但し，診療報酬を除く）	□	・	■
C	当該研究における年間 200 万円以上の産学連携活動について	□	・	■
D	当該研究に関係する産官学連携活動の相手先のエクイティ保有について	□	・	■

研究活動に係る利益相反自己申告書

申告年月日：　R8年　4月　2日

利益相反委員会　委員長　様

所属　：　医療部　診療課

職名　：　診療課長

氏名　：　渡邊　崇子

研究課題名	自立訓練をより効果的に提供するための研究
申告者 区　分	■研究実施者（□研究責任者、　■研究分担者、　□その他の研究者） □研究関係者 □その他（　　）
申告者 連絡先	TEL：045-473-0666　内線（　7720　） Email：watanabe.t@yokohama-rf.jp

上記の研究活動について、以下の通り申告いたします。

1．申告者について

	【有】	【無】
A　経営関与の有無（役員、顧問又は相談役等への就任等の権益）	□	■
B　経済的利益の有無 （当該研究活動に関係する一企業・団体等からの年間50万円以上の収入）	□	■

2．申告者の家族（配偶者及び生計を一にする扶養家族）について

	【有】	【無】
A　経営関与の有無（役員、顧問又は相談役等への就任等の権益）	□	■
B　経済的利益の有無 （当該研究活動に関係する一企業・団体等からの年間50万円以上の収入）	□	■

3．申告者の産学連携活動の相手先のエクイティ※について

※エクイティ（equity）：公開・未公開を問わず、株式、出資金、ストックオプション、受益権等のこと

	【有】	【無】
エクイティ保有の有無（役員、顧問又は相談役等への就任等の権益）	□	■

4．申告者の産学連携活動（共同研究、受託研究、寄付金等）について

	【有】	【無】
産学連携活動の有無（年間 100 万円以上の産学連携活動について） 申請研究活動に係るもので、研究・治験実施者及び関係者が関与した共同研究、受託研究、ライセンス供与、コンソーシアム、実施許諾、権利譲渡、技術研修、依頼出張、客員研究員、ポストドクトラルフェローの受け入れ、研究助成金、寄付金受け入れ、依頼試験、分析など	□	■

※各分野等で一括して受け入れた場合は、代表者等が受入金額を記載してください。

5．インフォームドコンセント(IC)取得のための同意説明文書・情報公開文書への記載について

※利益相反に関する情報開示を同意説明文書及び情報公開文書に記載すること

	【有】	【不要】	【無】
記載の有無	□	□	■

6．上記１．～５．のいずれかに「有」と回答された場合、その詳細な情報を記入ください。

私の研究活動に係る利益相反に関する状況は、上記のとおりであることに相違ありません。

【以下事務局記入欄／記入後、写しを申告者へ】

審査結果 利益相反委員会 令和 8 年　4 月　13 日開催	(承認)　条件付き承認　・　不承認 ≪承認 No：　C-yrs0806　≫ <承認条件・意見等> 特に指摘なし。	申請 No. 6

様式１－１

倫　理　審　査　結　果　通　知　書

令和7年6月2日

鈴木　智敦　　様

名古屋市総合リハビリテーション事業団
倫理審査委員会
委員長　鈴木　智敦

研究責任者　副理事長
鈴木　智敦

課題番号　2025001
研究課題名

訪問訓練の実施状況と訪問訓練前後での生活自立度の変化に関する研究

上記研究課題に関する内容について、当委員会において倫理審査し、下記のとおり判定しましたので通知します。

記

判定 承認
理由・勧告 研究の社会的・学術的意義、研究デザイン、研究対象者数とその設定根拠や研究対象者の選定、除外基準の科学的妥当性、対象者に生じる負担やリスク、インフォームド・コンセントの妥当性、個人情報保護の方針、利益相反管理について審査を行い、科学的観点、倫理的観点から問題はないと判断された。

様式4

研　究　実　施　許　可　書

令和7年6月2日

研究責任者
鈴木　智敦　　様

センター長
渡　邉　　豊

課 題 番 号　2025001
研究課題名

訪問訓練の実施状況と訪問訓練前後での生活自立度の変化に関する研究

上記研究課題の実施について、下記のとおり判定しましたので通知します。

記

判定 許可
理由・勧告 研究計画について、倫理審査委員会より下記の審査結果が示されており、倫理的に問題ないことが確認されたため。 名古屋市総合リハビリテーション事業団倫理審査委員会 審査結果　　承認　　（令和7年6月2日）